



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月27日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 浩司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521
 四半期報告書提出予定日 2020年10月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	4,710	△18.8	199	△53.1	209	△52.5	69	△76.9
2019年12月期第3四半期	5,801	30.9	426	183.1	442	160.2	300	164.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	4.09	—
2019年12月期第3四半期	17.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	11,309	9,963	88.1
2019年12月期	11,740	9,958	84.8

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 9,963百万円 2019年12月期 9,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2020年12月期	—	3.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,210	△4.3	550	4.2	570	3.7	385	4.7	22.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	17,955,000株	2019年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,039,944株	2019年12月期	1,039,844株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	16,915,086株	2019年12月期3Q	16,915,323株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種活動自粛が長期化するなか、国内外の経済活動が停滞し、企業収益の減少や個人消費が急激に落ち込むなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、営業活動の自粛や、工期の繰延べなど厳しい事業環境のなか、マーケティングに基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、当社の保有技術を活かした個別製品等において、提案営業強化を図り新規顧客展開に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,710百万円(前年同期比18.8%減)、営業利益は199百万円(前年同期比53.1%減)、経常利益は209百万円(前年同期比52.5%減)となりました。四半期純利益は、保有する投資有価証券について、評価損を計上したことから69百万円(前年同期比76.9%減)となりました。なお、四半期会計期間における投資有価証券の評価は、洗替法を採用しております。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

[減速機関連事業]

無人搬送台車駆動用減速機など、当社得意の個別減速機が比較的堅調に推移いたしましたが、全体では工作機械市況の低迷に加え、新型コロナウイルス感染症による営業活動自粛などにより、売上高は2,476百万円(前年同期比6.4%減)となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等に取り組みましたが、売上高の減少等により113百万円(前年同期比15.4%減)となりました。

[駐車場装置関連事業]

昨年度の大規模物件の反動に加え、新型コロナウイルス感染症による繰延べにより改修工事が減少したことで、売上高は2,074百万円(前年同期比30.0%減)となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めましたが、売上高の減少等により、108百万円(前年同期比64.7%減)となりました。

[室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と納期管理に努め受注獲得に努めましたが、新型コロナウイルス感染症による繰延べなどもあり、売上高は159百万円(前年同期比17.2%減)となりました。営業損益につきましては、継続的なコスト低減活動に取り組みましたが22百万円の損失(前年同期は15百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ431百万円減少し11,309百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が604百万円、原材料及び貯蔵品が44百万円、仕掛品が29百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が985百万円、未成工事支出金が124百万円、前払費用を含むその他の項目が54百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ476百万円減少し7,536百万円となりました。

固定資産は、保有株式の株価下落により投資有価証券が58百万円減少した一方で、資産の取得等により有形固定資産が86百万円、前払年金費用を含むその他の項目が27百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ45百万円増加し3,773百万円となりました。

[負債]

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ435百万円減少し1,346百万円となりました。

流動負債は、引当金が34百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が235百万円、未払法人税等が130百万円、未払金を含むその他の項目が141百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ471百万円減少し980百万円となりました。

固定負債は、役員退職慰労引当金が12百万円減少した一方で、退職給付引当金が33百万円、長期リース債務を含むその他の項目が15百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ36百万円増加し365百万円となりました。

[純資産]

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ4百万円増加し9,963百万円となりました。

これは、利益剰余金が32百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が36百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ3.3ポイント増加し88.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に対する各種経済政策により景気回復が期待されるものの、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われませんが、2020年12月期の業績予想につきましては、現時点では2020年2月5日に公表しました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,713,532	4,318,491
受取手形及び売掛金	2,976,407	1,991,151
製品	39,092	44,389
仕掛品	532,227	561,372
未成工事支出金	233,507	109,042
原材料及び貯蔵品	418,287	463,258
その他	108,978	54,700
貸倒引当金	△8,958	△5,992
流動資産合計	8,013,074	7,536,412
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,527,531	2,553,521
減価償却累計額	△1,860,661	△1,897,829
建物(純額)	666,869	655,692
機械及び装置	2,311,140	2,417,505
減価償却累計額	△1,845,635	△1,867,121
機械及び装置(純額)	465,504	550,383
土地	1,604,963	1,604,963
建設仮勘定	9,852	4,884
その他	1,008,029	1,044,307
減価償却累計額	△878,885	△897,556
その他(純額)	129,143	146,750
有形固定資産合計	2,876,334	2,962,674
無形固定資産	67,672	57,790
投資その他の資産		
投資有価証券	355,293	296,731
その他	428,436	455,813
投資その他の資産合計	783,730	752,545
固定資産合計	3,727,737	3,773,009
資産合計	11,740,811	11,309,422

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	905,211	669,810
未払法人税等	170,845	40,420
引当金	62,887	97,825
その他	313,270	172,171
流動負債合計	1,452,214	980,228
固定負債		
退職給付引当金	278,639	312,132
役員退職慰労引当金	29,100	16,270
その他	21,919	37,572
固定負債合計	329,658	365,974
負債合計	1,781,873	1,346,203
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,814,617	3,782,353
自己株式	△197,992	△198,023
株主資本合計	10,021,079	9,988,784
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△62,141	△25,565
評価・換算差額等合計	△62,141	△25,565
純資産合計	9,958,938	9,963,219
負債純資産合計	11,740,811	11,309,422

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	5,801,348	4,710,437
売上原価	4,677,533	3,877,736
売上総利益	1,123,815	832,700
販売費及び一般管理費	697,529	632,961
営業利益	426,286	199,739
営業外収益		
受取利息	330	269
受取配当金	5,274	5,603
保険配当金	6,503	152
受取ロイヤリティー	3,675	4,035
その他	6,072	4,634
営業外収益合計	21,856	14,695
営業外費用		
売上割引	4,387	4,099
その他	1,637	371
営業外費用合計	6,025	4,471
経常利益	442,117	209,962
特別利益		
固定資産売却益	-	1,149
特別利益合計	-	1,149
特別損失		
投資有価証券評価損	-	110,753
固定資産除却損	54	108
特別損失合計	54	110,862
税引前四半期純利益	442,063	100,250
法人税、住民税及び事業税	164,347	35,109
法人税等調整額	△22,441	△4,085
法人税等合計	141,905	31,023
四半期純利益	300,157	69,226

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,647,214	2,961,598	192,535	5,801,348	—	5,801,348
セグメント間の内部売上高 又は振替高	86,318	—	—	86,318	△86,318	—
計	2,733,533	2,961,598	192,535	5,887,667	△86,318	5,801,348
セグメント利益又は損失(△)	134,062	307,402	△15,178	426,286	—	426,286

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,476,787	2,074,194	159,455	4,710,437	—	4,710,437
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,636	—	—	35,636	△35,636	—
計	2,512,423	2,074,194	159,455	4,746,073	△35,636	4,710,437
セグメント利益又は損失(△)	113,431	108,511	△22,204	199,739	—	199,739

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。